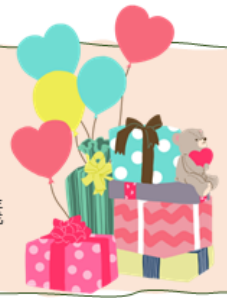


MiyazakiのActiveなナビゲーターを目指そう！

Ma!ナビ通信

(一社) 日本産業カウンセラー協会 九州支部 宮崎地域

発行：2025年2月
(毎月発行)
宮崎地域担当者会議
広報部



あなたと出会い隊

第44回 産業カウンセラー川越美佐樹さんにインタビュー

「養成講座の同期メンバーは、互いに響き合う大切な存在です」と話される川越さんにお話を伺いました。

資格取得のきっかけを教えてください

10年以上前、子どもが大学受験に挑戦していた頃、私も何か新しいことを学びたいと考えました。そこで、名刺に記載でき、高卒でも取得可能で、さらに通信教育ではなく、宮崎で学べる資格を探していたところ、「産業カウンセラー」資格に出会いました。専門用語の意味や脳の仕組みなどに興味を持ち、すぐに申し込みましたが、仕事上のストレスにて体調を崩してしまい、翌年に改めて受講することになりました。受講時のメンバーは40名で、最初は年齢や性別も違い、発言など躊躇することもありましたが、徐々に打ち解けることができました。また、集まることで、自分自身にエネルギーをもらった養成講座での学びでした。

資格をどのように活かされていますか

資格取得をして今年で11年目。仕事にて直接、資格を活かす業務ではありませんが、同僚や部下からの相談を受ける機会が増え、傾聴スキルはプライベートでも活かせていると感じています。

現在、養成講座の同期メンバーとはSNSを通じて交流し、勉強会や情報交換、ランチ会などを行っています。最近では1時間の勉強会の後に懇親会を開く形で定期的に集まっています。勉強会では、お互いに学んだことを共有し、刺激を受け合う貴重な時間となっています。

SNSでは、お互いの近況を確認し合うことができるだけでなく、異業種や幅広い年齢層、異なる生活環境の仲間たちとのつながりを維持する場にもなっています。私たちは、県内各地から集まり、約1年間の学びを共にした仲間です。そのため、励まし合い、共感し合い、さまざまなエピソードを共有しながら、互いに響き合う大切な存在であることを実感しています。



「産業カウンセラーの日無料公開講座」のほか、研修行事にも積極的に参加され、また、産業カウンセラー養成講座受講の同期メンバーのお世話役のひとりとしても活動されている川越さん。

今後、取り組みたいことをお聞かせください

高校卒業後18歳で現在の会社に入社し、今月で定年を迎えます。入社当時は、ちょうど男女雇用機会均等法が施行され始めた時期で、女性の活躍や地位向上が進む社会の変革期でした。振り返ると、子育てや介護を経ながら、約42年の歳月が過ぎました。

2月からは再雇用となり、引き続き会社員として働き続けます。産業カウンセラーの資格を取得する前は、男女共同参画社会の実現に向けた学びを深めていました。資格取得後は、仕事とは別に、県政審査会や宮崎市青少年推進会議の審議員、県の男女共同参画推進など、住みやすい社会づくりに関わる活動にも取り組んできました。

これからも、自分ができる場所で、できることを精一杯努めていきたいと考えています。



【取材：鶴羽・金丸】

「子ども食堂、子ども講の居場所づくり活動から学ぶ対人支援」報告



1月19日(日)13時30分より、第21回 ぼらたま研修会「子ども食堂、子どもの居場所づくり活動から学ぶ対人支援」を開催しました。

本研修会では、子ども食堂の運営や子どもの居場所支援、フリースペースの提供、キャリア教育支援などの活動を10年以上続ける一方、欧州やアジア各国も歴訪されている三輪邦彦さんを講師に迎え、支援に関するさまざまなお話を伺いました。

- 子どもの学校の友だちなど身近な子どもたちが何人も不登校になっていることから、教育を受ける権利として戦後整えられてきた公教育に限界が来ているのだろうか、、、などと考えることが時々ありました。ですが三輪先生の「教育を受ける権利を保障するのが学校」というお言葉で、まだまだ学校でもできることがある、できることをやっ払い背中を押していただけた気がしました。また、カウンセリングをしていて子どもたちの気持ちを聴いていく中で最近、問題の根本は人権の問題だと考えるようになっていましたが、今日の憲法を踏まえたお話で自分の考えがより鮮明になったように思います。本当に貴重なお話ありがとうございました。(スクールカウンセラー)
- 地域に根差した活動だからこそ、共に活動できる仲間ができ、その輪が広がり、一人では到底できないことも、できることが可能になると感じました。ネットワークの広がり重要だと再認識しました。
- 産業カウンセラーとしても、自分の地域や領域の中でできるボランティアがあると思うので、今後も何かしら社会活動を続けていきたいと思いました。
- 貧困の問題は子どものみならず、大人にもあるような気がします。私は団塊ジュニア世代で就職氷河期世代ですが、幸い高等教育も受けさせていただき、なんとか定職にも就くことができましたが、同世代を中心に派遣など非正規で働く方や、結婚しない方・引きこもりの方も多くいると聞きます。安心安全な居場所があって、そのような方も活躍できる(必要とされる)社会になるために産業カウンセラーが果たすことのできる役割もあるのではないかと感じました。
- カウンセリングの基本がベースにある関わり方が、子どもたちの安心・安全な居場所に必要であることを再認識しました。ありがとうございました。

2月度 宮崎地域担当者会議報告 (要旨のみ)

■ 養成講座部

・冬講座は1月10日～10月25日までの予定で5教室にて実施しています。

春講座は、4月22日～10月31日までの予定です。宮崎での講座は4月5日が募集締め切りです。

・2月18日 宮崎市民プラザの小会議室にて説明会を実施予定。お知り合いの方にご紹介ください。

■ CC部

・宮崎市で開催している養成講座も2月15日～16日で全10回のうち8回が終了します。3月で養成講座が修了予定です。

■ その他

・ランチ交流会を3月28日(金)12:00～13:30。九州電力1階 サンキューテラス

お申込は、支部ホームページにてお願いします。

・次回の宮崎地域担当者会議

3月5日(水曜日)19時～21時 フルオンライン